

資料編

1 項目別資料（参考）	資料 1
1.1 事業計画	資料 1
1.2 掘削工事の概要（断面図）	資料 6

1 項目別資料（参考）

1.1 事業計画

(1) 施工計画

① 建設機械の稼働台数の変更

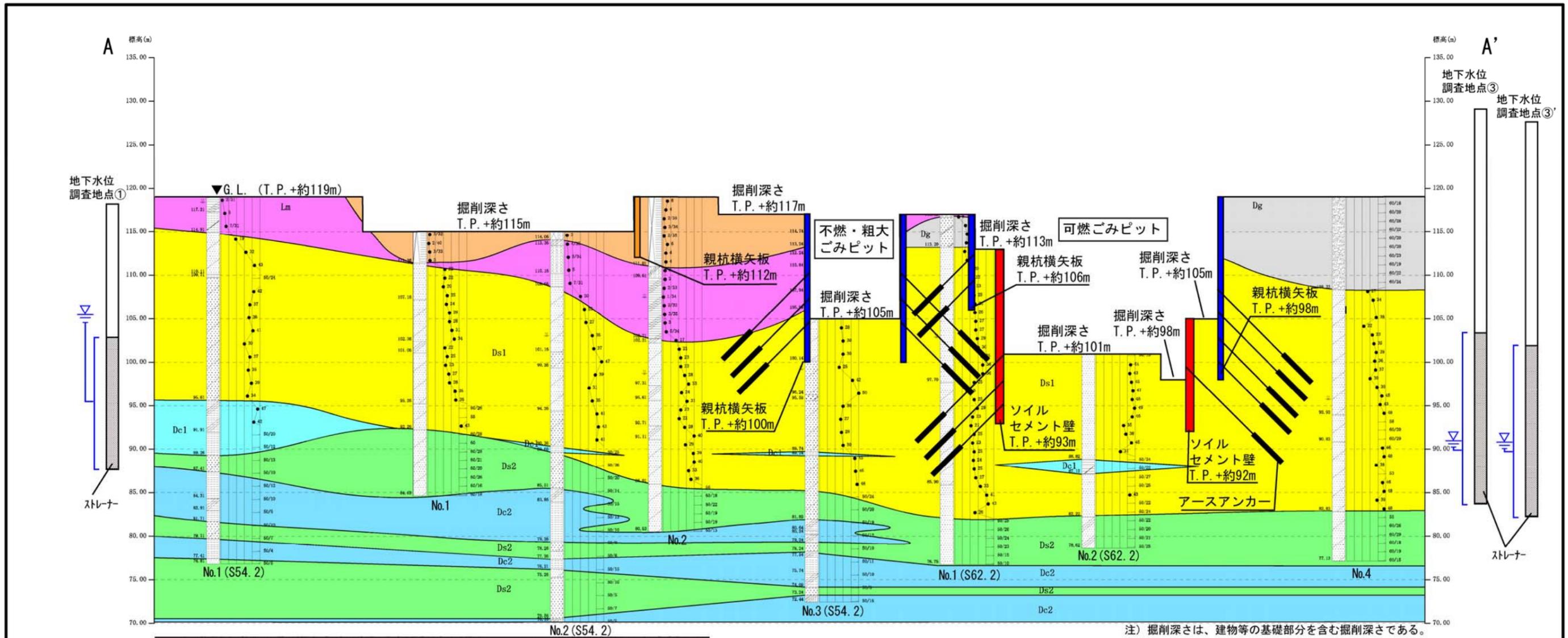
変更後、変更前の建設機械の稼働台数は、表1-1(1)～(2)に示すとおりである。

② 工事中車両の走行台数の変更

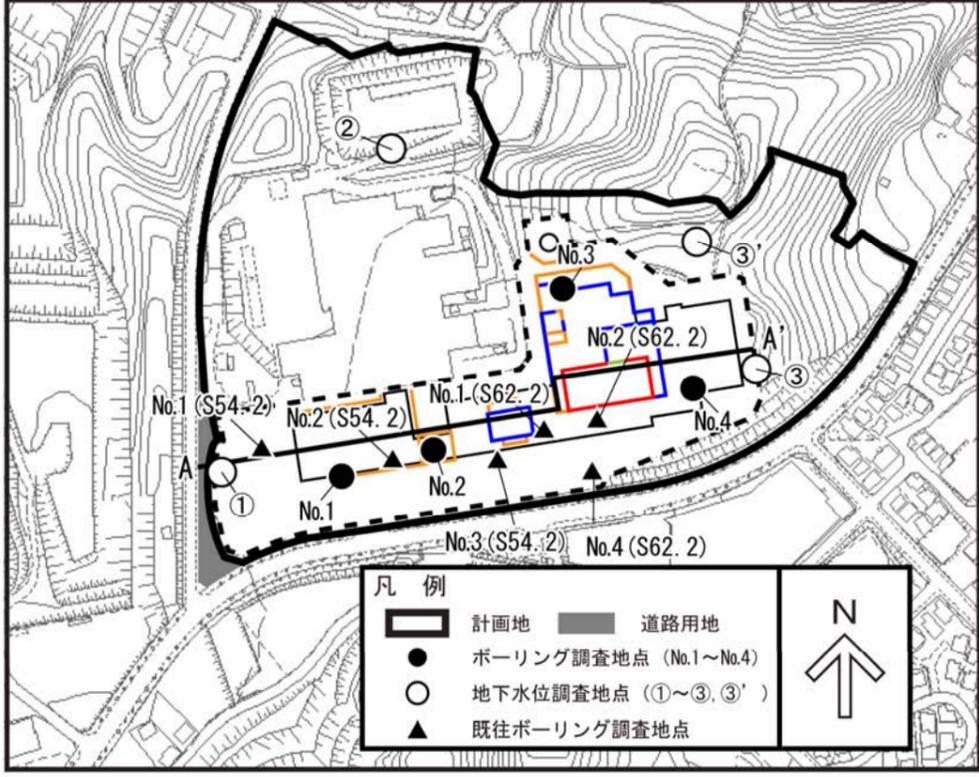
変更後、変更前の工事中車両の走行台数は、表1-1(1)～(2)に示すとおりである。

1.2 掘削工事の概要（断面図）

変更後、変更前の掘削工事の概要（断面図）は、図1-1(1)～(2)に示すとおりである。



注) 掘削深さは、建物等の基礎部分を含む掘削深さである。



地質凡例

地質時代	地層区分	地層記号	主要土質	N値の分布 (平均N値)	N値標準偏差	記 事
現世	埋土	B	埋土(粘性土)	2~12 (4.4)	2.3	ロームや黒ぼく等の粘性土主体。構成土質や層厚の変化に留意が必要である。
	ローム層	Lm	ローム 凝灰質粘土	1~13 (4.5)	2.6	上部はローム、下部は凝灰質粘土が多い。丘陵の上部に堆積する。
新 生 代 第 四 紀	洪積礫層	Dg	砂礫	13~100 (61.3)	27.6	粒径2~50mm(最大50~70mm)程度。T.P.128m付近に部分的に堆積する。
	洪積上部砂層	Ds1	細砂 シルト混じり細砂	11~60 (33.3)	10.2	細砂主体でシルトを多く混入する。T.P.115m付近に部分的に堆積する。
	洪積上部粘土層	Dc1	固結シルト	42~60 (54.8)	7.4	固結シルトを主体とする。T.P.95m付近に部分的に堆積する。
	洪積下部砂層	Ds2	細砂 シルト混じり細砂	54~100 (80.2)	16.9	細砂主体でシルトを多く混入する。T.P.92m付近に部分的に堆積する。
	洪積下部粘土層	Dc2	固結シルト 砂質泥岩	79~100 (98.6)	5.2	固結シルトや砂質泥岩からなる。T.P.87m付近に部分的に堆積する。

注1) 上表には今回の調査地に隣接する既往調査結果として下記の資料を含めた。
 ・「町田リサイクル文化センター建設に係る地質調査並びに振動測定診断報告書その1「設計条件確認のためのボーリング調査」(昭和54年2月、ブランド・エンジニアーズ株式会社)
 ・「MR II 計画地盤調査」(昭和54年9月、株式会社東京ソイルリサーチ)
 ・「(仮)すみれ会「花の家」地質調査委託」(昭和62年2月、大連開発工業株式会社)
 注2) Dg、Ds2、Dc2層のN値は、30cm貫入に換算した値(最大100)とした。

図 1-1(1)-① 掘削工事の概要(断面図)【変更後】

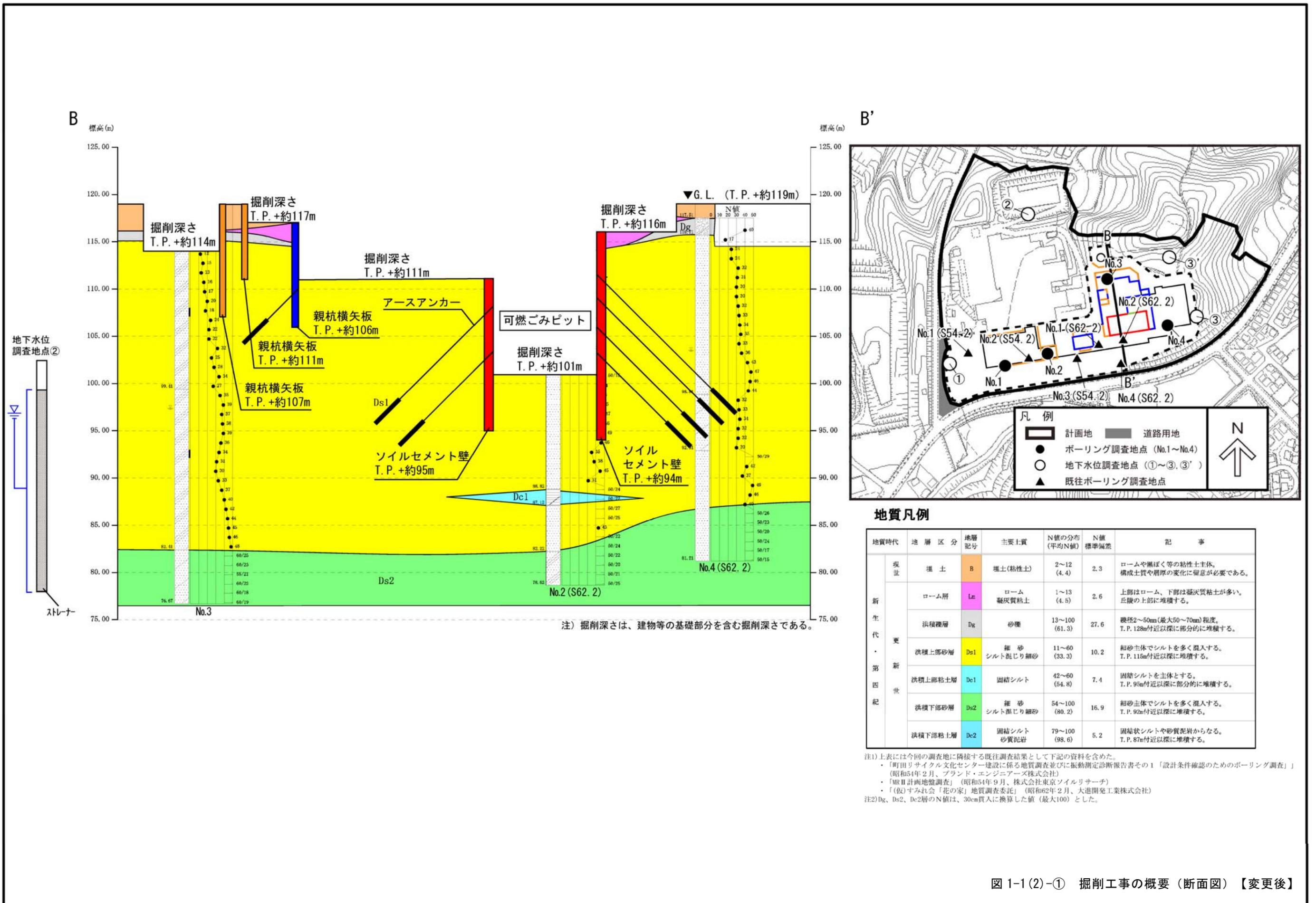
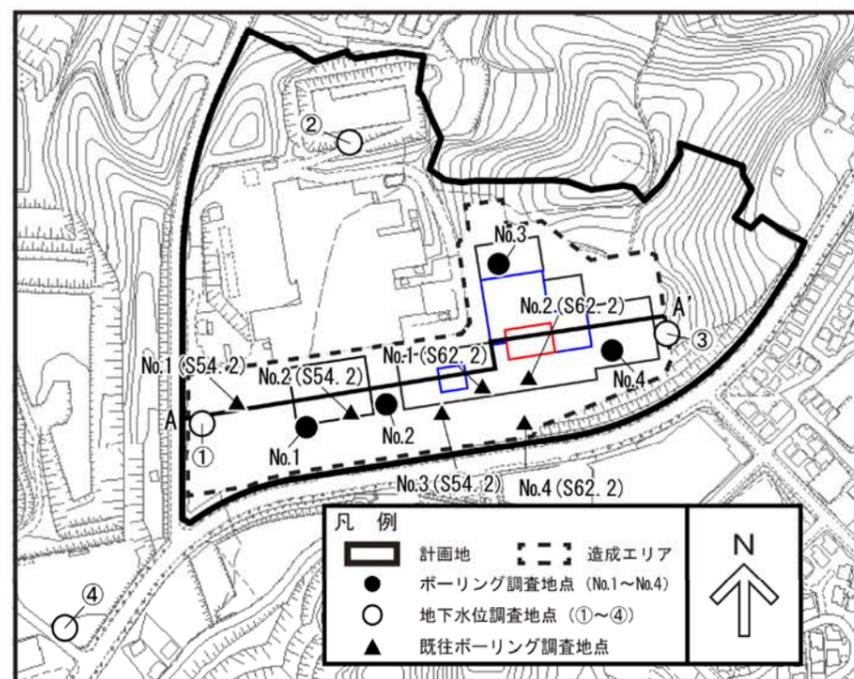
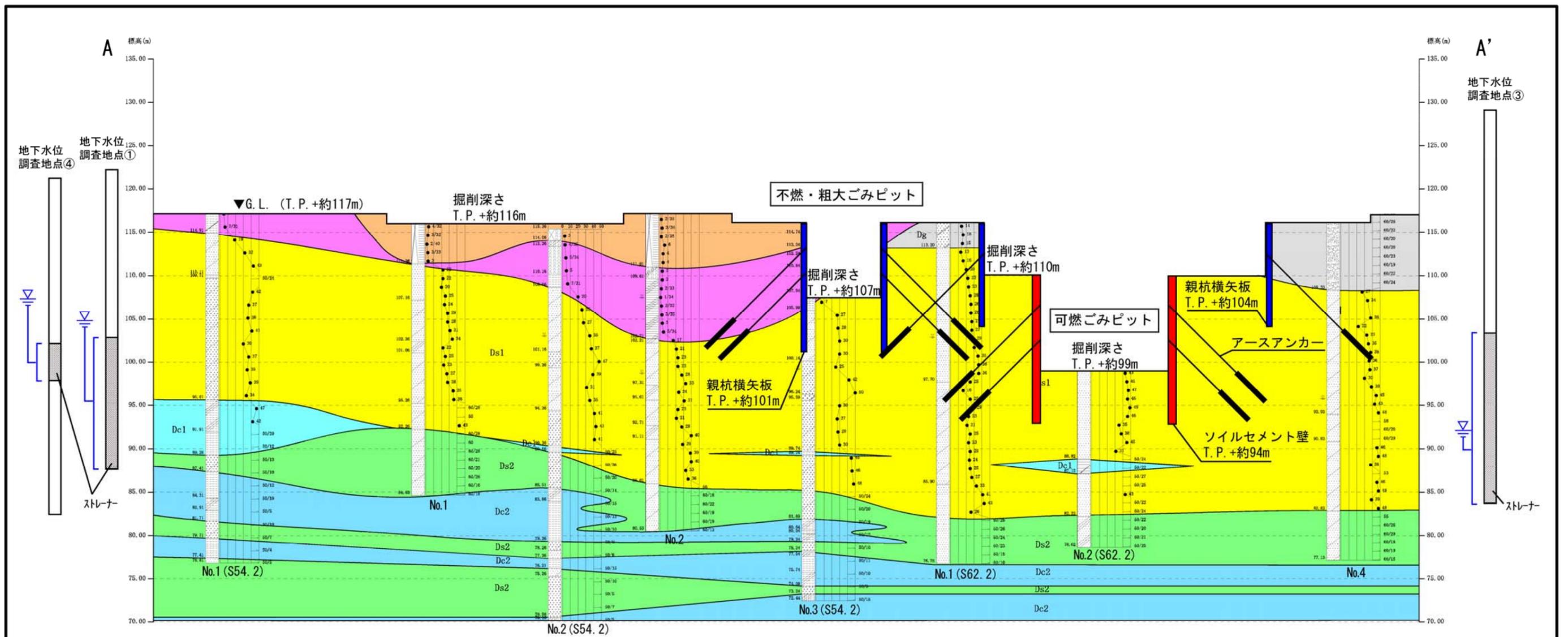


図 1-1(2)-① 掘削工事の概要(断面図)【変更後】

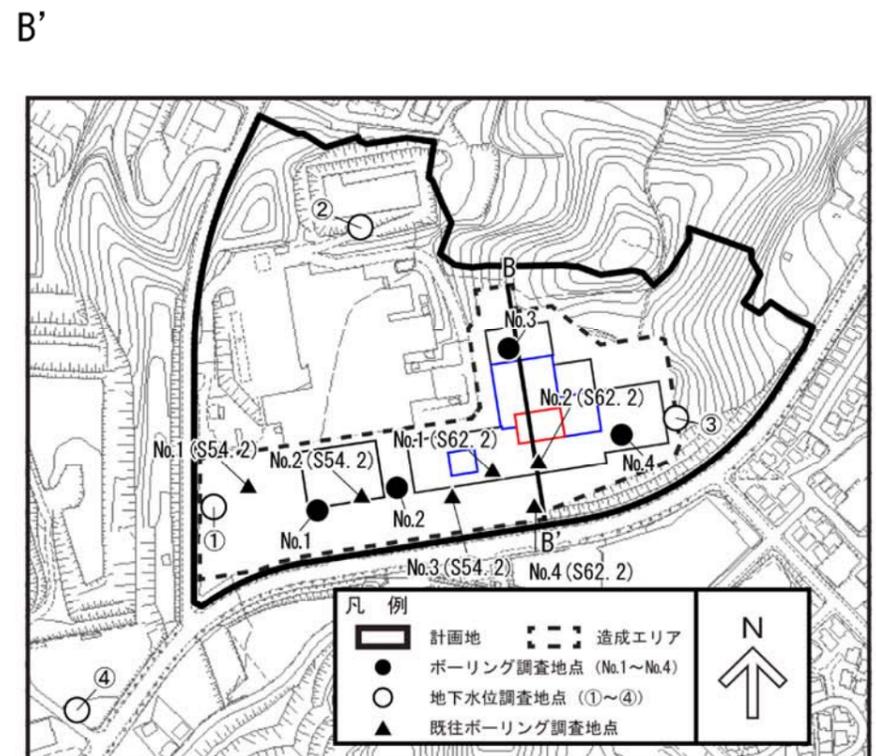
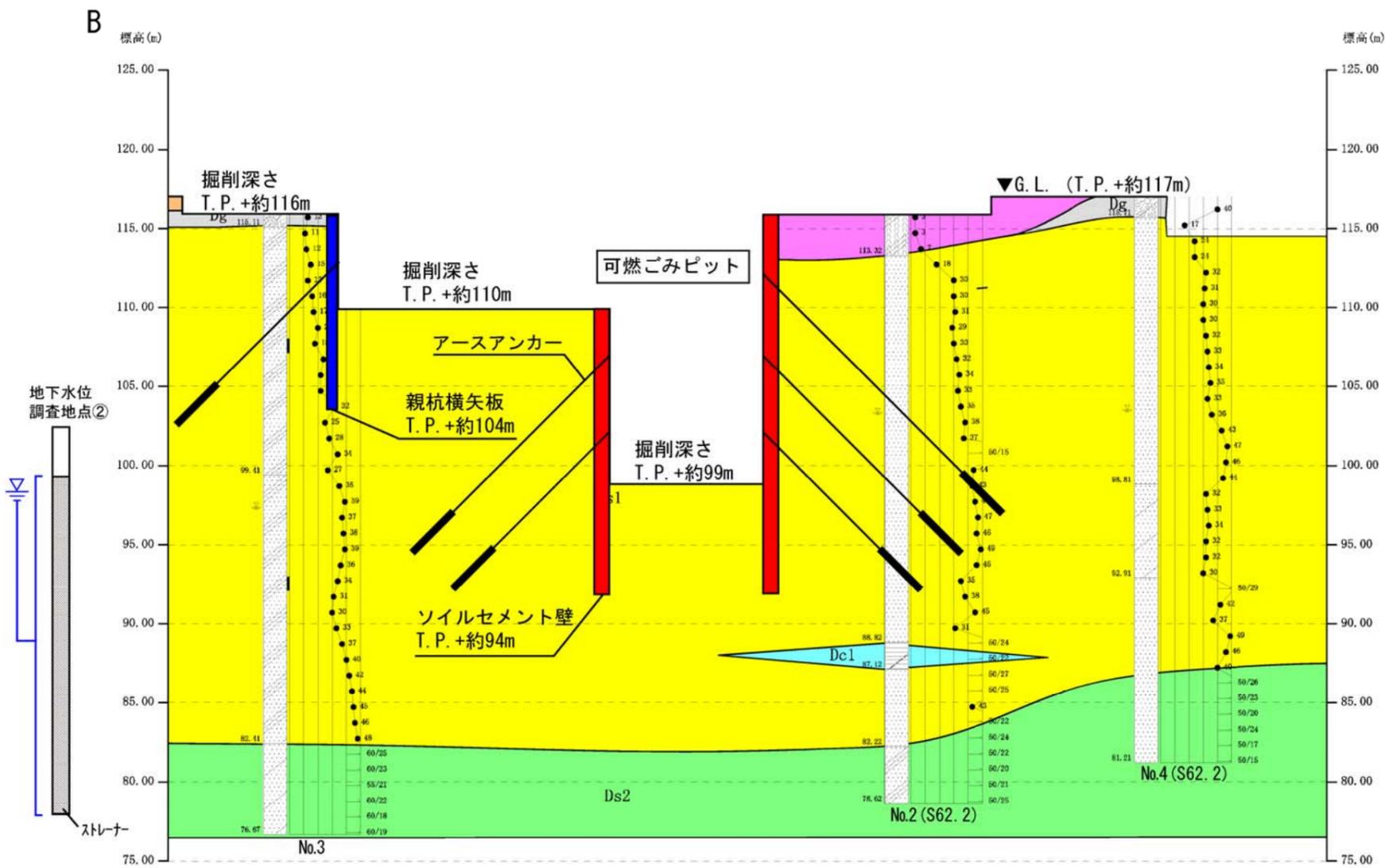


地質凡例

地質時代	地層区分	地層記号	主要土質	N値の分布 (平均N値)	N値標準偏差	記 事
現世	埋土	B	埋土(粘性土)	2~12 (4.4)	2.3	ロームや黒ぼく等の粘性土主体。構成土質や層厚の変化に留意が必要である。
	ローム層	Lm	ローム 凝灰質粘土	1~13 (4.5)	2.6	上部はローム、下部は凝灰質粘土が多い。丘陵の上部に堆積する。
新 生 代 ・ 第 四 紀	洪積礫層	Dg	砂礫	13~100 (61.3)	27.6	礫径2~50mm(最大50~70mm)程度。T.P. 128m付近に部分的に堆積する。
	洪積上部砂層	Ds1	細砂 シルト混じり細砂	11~60 (33.3)	10.2	細砂主体でシルトを多く混入する。T.P. 115m付近に部分的に堆積する。
	洪積上部粘土層	Dc1	固結シルト	42~60 (54.8)	7.4	固結シルトを主体とする。T.P. 95m付近に部分的に堆積する。
	洪積下部砂層	Ds2	細砂 シルト混じり細砂	54~100 (80.2)	16.9	細砂主体でシルトを多く混入する。T.P. 92m付近に部分的に堆積する。
	洪積下部粘土層	Dc2	固結シルト 砂質泥岩	79~100 (98.6)	5.2	固結状シルトや砂質泥岩からなる。T.P. 87m付近に部分的に堆積する。

注1) 上表には今回の調査地に隣接する既往調査結果として下記の資料を含めた。
 ・「町田リサイクル文化センター建設に係る地質調査並びに振動測定診断報告書その1「設計条件確認のためのボーリング調査」(昭和54年2月、ブランド・エンジニアーズ株式会社)
 ・「MR II 計画地盤調査」(昭和54年9月、株式会社東京ソイルリサーチ)
 ・「(仮)すみれ会「花の家」地質調査委託」(昭和62年2月、大連開発工業株式会社)
 注2) Dg、Ds2、Dc2層のN値は、30cm貫入に換算した値(最大100)とした。

図 1-1(1)-② 掘削工事の概要(断面図)【変更前】



地質凡例

地質時代	地層区分	地層記号	主要土質	N値の分布 (平均N値)	N値 標準偏差	記 事
新 生 代 ・ 第 四 紀	埋 土	B	埋土(粘性土)	2~12 (4.4)	2.3	ロームや黒ぼく等の粘性土主体。 構成土質や層厚の変化に留意が必要である。
	ローム層	Lm	ローム 凝灰質粘土	1~13 (4.5)	2.6	上部はローム、下部は凝灰質粘土が多い。 丘陵の上部に堆積する。
	洪積礫層	Dg	砂礫	13~100 (61.3)	27.6	礫径2~50mm(最大50~70mm)程度。 T.P. 128m付近に深に部分的に堆積する。
	洪積上部砂層	Ds1	細 砂 シルト混じり細砂	11~60 (33.3)	10.2	細砂主体でシルトを多く混入する。 T.P. 115m付近に深に堆積する。
	洪積上部粘土層	Dc1	固結シルト	42~60 (54.8)	7.4	固結シルトを主体とする。 T.P. 95m付近に深に部分的に堆積する。
	洪積下部砂層	Ds2	細 砂 シルト混じり細砂	54~100 (80.2)	16.9	細砂主体でシルトを多く混入する。 T.P. 92m付近に深に堆積する。
	洪積下部粘土層	Dc2	固結シルト 砂質泥岩	79~100 (98.6)	5.2	固結状シルトや砂質泥岩からなる。 T.P. 87m付近に深に堆積する。

注1) 上表には今回の調査地に隣接する既往調査結果として下記の資料を含めた。
 ・「町田リサイクル文化センター建設に係る地質調査並びに振動測定診断報告書その1「設計条件確認のためのボーリング調査」
 (昭和54年2月、ブランド・エンジニアーズ株式会社)
 ・「MR II 計画地盤調査」(昭和54年9月、株式会社東京ソイルリサーチ)
 ・「(仮)すみれ会「花の家」地質調査委託」(昭和62年2月、大進開発工業株式会社)
 注2) Dg、Ds2、Dc2層のN値は、30cm貫入に換算した値(最大100)とした。

図 1-1(2)-② 掘削工事の概要(断面図)【変更前】